



## 関西大学出版部

Kansai University Press

### 大学教育の国際化への対応

著编者名	池田 佳子	発行年	2019
同時1アクセス(本体)	¥3,960	同時3アクセス(本体)	¥5,500
冊子版ISBN	9784873547046	商品コード	1030497811

日本の大学の国際化は、社会の変化とともに必須課題となっている。従来の「大学」の学生プロフィールを考え直し、海外の高等教育機関と留学生を争奪する戦略が鍵となる。日本人学生も、国外の基準を見据えた変革を進める大学をより志向する傾向にある。大学が自力で進めるキャンパスの国際化、教育の国際化のプロセスは安易でなく、本書はその具体例を交えた状況レポートである。

### 外国語学習とコミュニケーションの心理 —研究と教育の視点—

著编者名	八島 智子	発行年	2019
同時1アクセス(本体)	¥4,400	同時3アクセス(本体)	¥6,160
冊子版ISBN	9784873546872	商品コード	1030497802

外国語でコミュニケーションを図るといのは極めて複雑な作業である。外国語の能力だけでなく、使うときの不安や緊張、外国語学習の動機づけ、異文化への態度や国際性など、多くの要因が関わる。本書では外国語学習とコミュニケーションの心理を、応用言語学、コミュニケーション学、心理学の3分野から幅広く探求する。

### ポピュリズムの現代 —比較政治学的考察—

著编者名	土倉 莞爾	発行年	2019
同時1アクセス(本体)	¥8,800	同時3アクセス(本体)	¥12,320
冊子版ISBN	9784873546957	商品コード	1030497808

現代はポピュリズムの時代である。ポピュリズムの様相は国により異なるが、デモクラシーにとって重要なのは、それら一つ一つを解きほぐし対応していくことであろう。そのような視角から、フランスの大統領選挙を始めとする近年の選挙動向、イギリスのBrexit、日本の橋下徹と大阪維新の会を題材とし、個別に研究する。

### 米軍基地問題の基層と表層

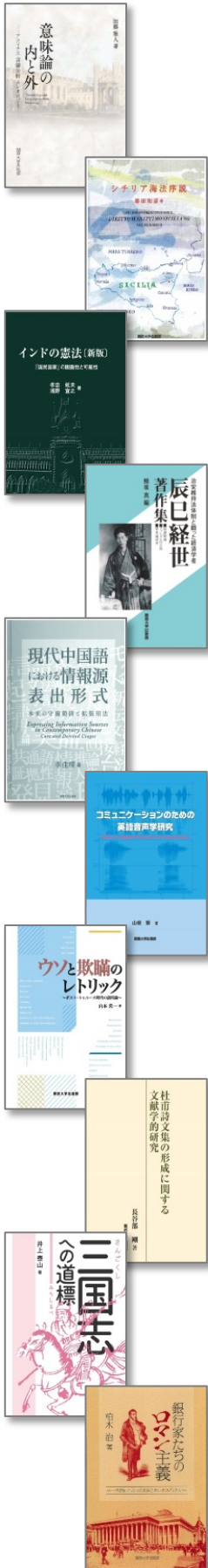
著编者名	高作 正博	発行年	2019
同時1アクセス(本体)	¥6,600	同時3アクセス(本体)	¥9,240
冊子版ISBN	9784873546858	商品コード	1030497801

沖縄の米軍基地に「抗う」運動は、「民意」と「歴史」に支えられている。米軍基地から派生する様々な問題を、その直接の原因である日米地位協定や国内法、また、その底流で流れ続ける「改憲論」の観点から問い直す。米軍基地問題を日本国内の問題として捉え、その解決のための視座を、主権論や国家論に求める。

### 風土学はなぜ何のために

著编者名	オギュスタン・ベルク	発行年	2019
同時1アクセス(本体)	¥3,960	同時3アクセス(本体)	¥5,500
冊子版ISBN	9784873546971	商品コード	1030497809

オギュスタン・ベルクは、日本留学を機に、西洋とは異なる日本の風土に出会い、和辻哲郎の風土学を知る。人間と自然の不可分な関係を前提する風土学は、近代の二元論を批判し、二元論にもとづく西洋近代文明を相対化する。小著ながら、「通態化」をはじめとする独自の概念にいかにか到達したかが、コンパクトに語られている。



### 意味論の内と外 —アキナス言語分析メレオロジー—

著編者名	加藤 雅人	同時1アクセス(本体)	¥5,720	冊子版ISBN	9784873546902
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥7,920	商品コード	1030497805

アキナスのエッセについて、従来の存在論的解釈に対して、論理学や言語分析の概念を用いた意味論的二区分という視点からの再解釈(第一章～第四章、第十章)。中世のメレオロジー(全体・部分という概念枠)についての本邦初の論考(第五章と第六章)。アキナスの個体論、魂論についての論考(第七章～第九章)。

### シチリア海法序説

著編者名	栗田 和彦	同時1アクセス(本体)	¥5,940	冊子版ISBN	9784873546803
発行年	2018	同時3アクセス(本体)	¥8,250	商品コード	1030497797

文明の十字路・中世地中海交易の要衝シチリアの拠点港メッシーナとトラパニに残る往時の海法を逐条的に分析・検討し、その実像に迫り、スペイン・ヴァレンシア海法との関連性やメッシーナ海法とアマルフィ海法(世にいうFoscarini本)との類似性など、中世イタリアないし地中海海法史研究上の意義・重要性を解明する。

### インドの憲法 —「国民国家」の困難性と可能性—新版

著編者名	孝忠 延夫	同時1アクセス(本体)	¥7,040	冊子版ISBN	9784873546810
発行年	2018	同時3アクセス(本体)	¥9,790	商品コード	1030497798

国民国家のあり方が問われる今、29の州と7の連邦直轄領から成るインドは、その憲法で22の公用語を定め、「多様性のなかの統一」をめざしてきた国として知られている。本書は、インドの基本的あり方を詳細に規定するインド憲法を紹介・分析し、その全文和訳(2016年第101次改正までを含む)をおこなうものである。

### 辰巳経世著作集 —治安維持法体制と闘った経済学者—

著編者名	辰巳 経世	同時1アクセス(本体)	¥4,620	冊子版ISBN	9784873546827
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥6,380	商品コード	1030497799

関西大学を卒業後、治安維持法違反による検挙にも屈せず、病身を押しつけて奴隷制度の研究、日本ファシズムへの警告、日本で最初に『資本論』全巻の解説書等を著した辰巳経世。のちに未発表の原稿が発見され、「戦前の出版物を保存する会」によって上梓された。本書は辰巳経世が残した渾身の力作をまとめた著作集である。

### 現代中国語における情報源表出形式 —本来の守備範囲と拡張用法—

著編者名	李 佳梁	同時1アクセス(本体)	¥7,040	冊子版ISBN	9784873546841
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥9,790	商品コード	1030497800

本書は、孤立語である中国語も合理的に説明できるような理論的枠組みを探った上で、現代中国語における情報源表出に関連する複数の構文・機能語がどのような意味機能を持ち、如何に成立したのかという問題を考察し、中国語の情報源表出の体系を浮き彫りにしたものである。この分野の研究における必読文献と言える。

### コミュニケーションのための英語音声学研究

著編者名	山根 繁	同時1アクセス(本体)	¥3,960	冊子版ISBN	9784873546896
発行年	1970	同時3アクセス(本体)	¥5,500	商品コード	1030497804

英語学習者のコミュニケーション能力に最も重要な要素の一つは、相手に情報を正確に伝えることである。本書は、意思伝達に必要な発音力を育成することを目的とし、さらに、大学院生、教育現場の教師、研究者が発音研究や音声指導を行うにあたり、必要不可欠な情報をまとめた実践的な指導書・研究書になっている。

### ウソと欺瞞のレトリック —ポスト・トゥルース時代の語用論—

著編者名	山本 英一	同時1アクセス(本体)	¥5,720	冊子版ISBN	9784873546933
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥7,920	商品コード	1030497806

ポスト・トゥルースの語に象徴されるように、現代は真実と虚偽の境界が見えにくい。ウソ・欺瞞が日常化した今、背景にあるレトリックの特徴を明らかにすることが重要になっている。本書は、語用論を出発点に、誠実な発話の対極にあるウソ・欺瞞が成立する仕組みを考え、間違った解釈へと誘導される人間の意向を解き明かす。

### 杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究

著編者名	長谷部 剛	同時1アクセス(本体)	¥4,620	冊子版ISBN	9784873546940
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥6,380	商品コード	1030497807

中国最大の詩人、杜甫の詩文集については、その死後三百年を経て成立した『宋本杜工部集』が現存する唯一完全なテキストであり、杜甫詩人の自筆テキストは現存しない。本書は中国文献学の知見・研究手法を取り入れ、「杜甫生前、そして死後、彼のテキストはどのように筆写され流通したのか」という問題についてその解明を試みたものである。

### 三国志への道標

著編者名	井上 泰山	同時1アクセス(本体)	¥3,960	冊子版ISBN	9784873546889
発行年	1970	同時3アクセス(本体)	¥5,500	商品コード	1030497803

小説『三国志演義』の世界を全15回にわたって解説した講演集。「運環の計」「赤壁の戦い」「三顧の礼」などの名場面や、「義」を基軸として展開される乱世の人間模様を多角的に分析し、その真髄に迫る。16世紀末にスペインに流出した貴重な版本についても、筆者自身の調査結果を詳細に報告し、近年までの研究史を回顧。

### 銀行家たちのロマン主義 —一九世紀フランスの文芸とホモ・エコノミクス—

著編者名	柏木 治	同時1アクセス(本体)	¥5,500	冊子版ISBN	9784873547039
発行年	2019	同時3アクセス(本体)	¥7,700	商品コード	1030497810

フランス文芸において「銀行家」がその存在感を増すようになるのは19世紀にはいつてからである。自由主義思想と古典派経済学の興隆、産業革命と資本主義経済の発達なかで社会は「銀行家」の表象をどのように形成していったのか。ロマン主義時代における銀行家たちの現実に照準を合わせ、かれらの文化活動の実相に迫る。

● 表示価格は税抜きです。

2019年5月